



soramado family にお届けする

sora の おと ♪

VOL. 02
2014. 04月号

毎日の中の、小さな楽しみを、
そっとすくって、みなさんにお届けするお便りです♪

雲ひとつない青空を見て、急にやる気がでたり♪
朝からいそがしい小鳥たちのおしゃべりで、目が覚めたり♪
いつの間にか、芽を出した花をみて一日が気分よく過ごせたり♪

些細なことだけれど、心がホッとあたたまるようなことを
家のことや暮らしのこゝろを始め、日々のこと、それからソラマドのことも♪綴っていきます

○ 建築界のノーベル賞 ○



東日本大震災時
避難所の間仕切りシステム

「建築を通じて人類や環境に一貫した意義深い貢献をしてきた」建築家を称える大変名誉ある賞です。

坂さんは、紙や段ボールといったシンプルな素材を使って、自然災害被災者の為の仮設住宅等の建築を20年以上手がけてきた建築家。数年前に、本屋さんの棚にひっそりと並んだ

【Voluntary Architect' Network 建築をつくる。人をつくる。】

の本を読み、崇高な考えと被災時の手も足も出ない状況下でも建築が力になれることを知り、深く感銘を受けた一冊が、坂さんの本でした。

3/25に建築業界に嬉しいニュースが入りました☆建築界のノーベル賞と言われる世界最高の栄誉“米プリツカー賞”を日本人の坂茂さんが受賞しました<^!^>/



阪神淡路大震災
紙のログハウス

東日本大震災では避難所之間仕切りシステムを設置。(左記写真参照)以前、TVでは被災時、食料の供給が安定してくると、衛生面やプライバシー等、より日常のことが気になってくると報道されていました。その時に活躍したのが、プライバシーを守る間仕切りや仮設住宅。精神的につらい時、少しでも痛みを軽減することに、建築の発想や技術が役立っているという話は、同じ建築に携わる者として、大変嬉しいニュースでした(^_^)♪

阪神淡路大震災(1995年)後の仮設住宅や教会の集会所を始め、活動は日本だけでなくとどまらず、スリランカの津波災害(2005年)後の復興住宅も手掛け、



阪神淡路大震災時
紙の教会

○ ぐんぐん育つ♪ ○



桜も満開になりましたね♪我が家の目の前に、保育園があるのですが、先日入園式を行っていました☆

子どもたちより、親の方がドキドキするのかな?と入園式の看板前で記念撮影をする、親御さんを眺めながら考えていました♪

この時期は、桜はもちろんですが、ぐんぐんと成長していく新緑には、まるで子どもたちのようなエネルギーと愛らしさを感じる私。生まれたての小さな芽が、日々驚く早さで成長していく姿は、子どもたちと似ているんだか感動しちゃうのです(^_^)

我が家にあるパキラの木も春に向けて、小さな新芽がたくさん顔を出してきました☆これが、またなんとも愛らしいのです^^;

でも、不思議なことに可愛さのあまり手を入れすぎたり、心配をし始めると、しおれたり、葉が落ちたり(笑)

のん気に「キレイな色♪」「また、新芽が出てる!」と喜んだり、楽しんでいるだけの方が明らかにパキラは元気・・・(笑)



噂のパキラくん

そんな訳で、少し物足りないのですが(笑)、今はパキラの生命力にお任せして、ちょこちょこ様子見&たまの水やり程度の手入れになりました。もはや育てているという感覚はなく、応援&見守るのみ。彼は自らの力で、今日も元気に、ぐんぐんと育っています(^_^)/そんな、彼らの力をひたすら応援する方向転換をして今度は、いちごとトマトを我が家にお招きすることにしました♪(笑)

成長していく姿もちろん楽しみですが、また違った意味で大きくなっていくことが、楽しみではありません☆たくさん実ってね(^_^)/(笑)



Life-labo higashi saitama
ogawahome



お便りもお持ちしています♪

Life-labo higashi saitama
kaneko kimie
ライフスタイリスト